

のどかな夏やすみ

校長 工藤 祐嗣

今年の夏休みもうだるような暑い日が多く、エアコンや水分を求める日々が続きました。そんな中、子どもたちは部活や地域のボランティア等で活躍するなど、多くの学びを経験した中で2学期が始まりました。今学期は大きな行事も控えており、夏休みの成長を生かしながら学校全体として、良い伝統につながることを期待しています。

夏休み前、生徒たちに「日本の忘れてはいけない大切な3日」という話をしました。8月6日、9日そして終戦の日の15日。今や私も保護者の皆様方もこの日の事は人づてにしか知りません。当時中学生の子どもたちは今や90歳を超えている方です。当時の事を語れる人たちも少なくなりました。私は生徒たちに「夢を描き、実現することで人に夢を与える」そんな人になってほしいと伝えています。今、この言葉を戦時中の12~15歳の子どもたちに聞いたとしたらどんな自分の夢を語るのでしょうか。

私は子どもたちと共に、日本の平和が当たり前だとは思わず、あの悲惨な戦争を知ることから平和を学び平和を持続していくことを共に学んでいきたいと思います。

猛暑が続き自然災害に気をつけながら過ごす日々ですが、「のどかな夏やすみ」がずっと続くことを願います。

夏の大会活動報告

部活動名	大会名	活動結果
柔道部	○横浜市総体柔道競技の部 男子団体戦 男子個人戦 73kg 級 女子体重別個人戦	第 5 位 第 3 位 第 5 位
野球部	○横浜市中学校総合体育大会 野球の部 ○全日本少年軟式野球大会 ○保土ヶ谷区夏季野球大会	ベスト16(138校中) 本校部員が選抜チームとして全国大会出場 優勝 保土ヶ谷区代表として市大会出場
演劇部	○横浜市中学校演劇発表会 (中部地区)	最優秀賞 中部地区代表として県発表会出演 横浜市ベスト4(37校中)
吹奏楽部	○横浜吹奏楽コンクール ○神奈川県吹奏楽コンクール ○東関東吹奏楽コンクール	金賞・代表 金賞・代表 金賞(第4位)
卓球部	○横浜市中学校総合体育大会卓球の部 ○カデット夏季大会個人ブロック 1年の部 2年の部	市大会個人戦出場5名 第1位 第3位
水泳部	○横浜市中学校総合体育大会水泳の部 男子 100m 自由形 男子 200m バタフライ ○神奈川県中学校総合体育大会水泳の部 男子 100m 自由形	第5位 第7位 11名出場 第5位
剣道部	○横浜市第二ブロック大会 ○神奈川県中学校選抜剣道大会 ○横浜市中学校剣道大会(市総体) ○神奈川県中学校剣道大会(県総体) ○関東中学校剣道大会	女子個人 優勝 男子個人 準優勝 第3位 男子団体 優勝 女子個人 第3位 女子個人 第3位 男子個人 第5位 男子団体 第5位 女子個人 第3位 女子個人 出場

部活動名	大会名	活動結果
女子ソフトテニス部	○横浜市民スポーツ大会ソフトテニスジュニア 1.2 年生	団体の部 第 5 位
陸上競技部	○横浜市通信陸上競技大会	
	男子共通 1500m	第 5 位
	男子共通 3000m	第 4 位
	男子共通棒高跳	第 5 位
	女子 3 年 100m	第 6 位
	女子共通走高跳	第 3 位
	女子共通砲丸投	第 7 位
	○神奈川県選抜陸上競技大会	
	男子共通 3000m	第 5 位
	男子共通棒高跳	第 5 位
	○神奈川県通信陸上競技大会	
	男子共通棒高跳	第 5 位
	女子共通走高跳	第 5 位
女子共通棒高跳	第 3 位	
○関東陸上競技大会		
女子共通棒高跳	出場	

ろう学校交流会活動報告

12日に生徒会本部役員、そして保中生の計25名でろう学校との交流会を行いました。今回の交流では、一人ひとりに教室が割り振られ、様々なゲームをして交流しました。私が交流したクラスでは、「何でもバスケット」や、ろう学校の生徒さんの手話を実際に見てその意味をあてるという「これは何の手話でしょう？」ゲームをしました。手話の意味や由来を知ることができ、手話に興味を持つきっかけになりました。そして、その後は体育館でドリブルリレーなどの生徒みんなて協力するゲームを行いました。活動の中で友達ができたと言う人もいるほど、仲の深まる楽しい交流となりました。これからも、長く続いてきた保土ヶ谷中学校と横浜ろう学校の交流を続けていきたいと思えます。

総合防災訓練活動報告

9月5日に防災訓練をしました。今回の訓練から内容を変更した部分があります。1つ目は「余震がある」です。地震の発生を複数回にし、合図が出るたび、机の下で身体を守る動きをします。2つ目は「グラウンドに避難をしない」です。学校は丈夫なつくりをしているので、倒壊はしないと想定しました。むしろグラウンドに避難している途中で地震が発生した場合、被害が広がる可能性が高いため、グラウンドへの避難をなくしました。(火災や津波が発生した場合はグラウンドなどに避難をします。)3つ目は「停電する」です。停電する可能性もあるため、放送機器を訓練の開始や終了の合図だけにして、連絡経路や指示を職員の動きで行いました。生徒は新しい動きに戸惑いながらも真剣に取り組みました。また振り返りシートで自身の地域防災拠点を知っているかのアンケートも行いました。ぜひお子さんと地域防災拠点の確認をしてみてください。